

平成 20 年度岡山県医療対策協議会 産科医療対策部会の概要

○日 時：平成 21 年 1 月 30 日（金）14:00～16:00

○場 所：三光荘 3 階パブリゾン 1

○出席者：別紙のとおり（周産期医療協議会との合同会議）

【県北における医師確保対策について】

- ・ 色々な地域の特色があり、県北においては、拠点となる施設の強化を図る必要がある。
- ・ 産科オープンシステムのやり方はその地域特性に応じたものにしていく必要がある。
- ・ 県北等の地域医療を支えている義務年限内の自治医科大学卒業後の医師のうち、産科医を志望する人がいれば、拠点となる県北の病院へお願いしたい。

【その他】

- ・ 顔が見える関係の中で搬送を行ってきたが、システムの改善について考えていく必要がある。
- ・ 県南西部地域の産科医師数が減少している。
- ・ 国はNICUを増やせというが、そこで働く医師等の確保が課題である。
- ・ 妊産婦の管理においてどのような状態であれば、総合・地域周産期母子医療センターへ相談、搬送するかについて学会ガイドラインなどを参考にして考えるべきではないか。
- ・ ハイリスク妊娠管理加算など、診療報酬上の加算が勤務医に還元されてない。